令　和　５　年　度

(2023 年度)

決 算 等 審 査 意 見 書

稲城・府中墓苑組合監査委員

写

６稲府墓監発第６号
令和６年 10 月２日

稲城・府中墓苑組合管理者
髙　橋　勝　浩　　殿

稲城・府中墓苑組合監査委員
岩　藤　真　実
稲城・府中墓苑組合監査委員
奈良﨑　久　和

令和５年度稲城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算
及び各基金の運用状況を示す書類の審査意見について

地方自治法第 233 条第２項の規定に基づき審査に付された令和５年度稲城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算及び同法第 241 条第５項の規定に基づき審査に付された令和５年度稲城・府中墓苑組合各基金の運用状況を示す書類について審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

＊　小数点以下の表示は、原則として小数点以下第２位を四捨五入し、第１位までを表示した。

＊　該当の数字がないものは「―」と表示した。

令和５年度稲城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計
歳 入 歳 出 決 算 の 審 査 意 見 書

１　審査等の種類

地方自治法第 233 条第２項の規定及び稲城・府中墓苑組合監査基準に基づく決算審査

２　審査の対象

令和５年度稲城・府中墓苑組合一般会計歳入歳出決算書、墓地特別会計歳入歳出決算書及び関係書類

３　審査の手続及び着眼点並びに実施内容

審査に当たっては、提出された決算書が法令に従い調製及び作成されているか、計算に間違いはないか、支出命令等に符号しているか、収支は適法であるか等に主眼を置き、書類審査及び職員の聴取により実施した。

４　審査の実施場所及び日程

実施場所：公営　稲城・府中メモリアルパーク　南山ホール２階洋室

日　　程：令和６年７月 30 日

５　審査の結果

審査に付された決算及び証書類は、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されており、かつ証拠書類と照合したところ、計数に誤りはないものと認められた。

1　決算の規模と収支状況

令和５年度稲城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計の歳入歳出決算は次のとおりである。

⑴一般会計歳入歳出決算　（単位：円）

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額（形式収支）	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
87,887,728	74,224,836	13,662,892	0	13,662,892

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

（単位：円、％）

区分＼年度		令和５年度	令和４年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	87,887,728	87,863,262	24,466	0.0
歳出総額	B	74,224,836	75,413,851	△ 1,189,015	△ 1.6
歳入歳出差引額	(A-B) C	13,662,892	12,449,411	1,213,481	9.7
翌年度へ繰り越すべき財源	D	0	0	0	0
実質収支額	(C-D) E	13,662,892	12,449,411	1,213,481	9.7
前年度実質収支額	F	12,449,411	11,721,274	728,137	6.2
単年度収支額	(E-F) G	1,213,481	728,137	485,344	66.7

本年度の一般会計の歳入総額は 8,788 万 7,728 円で、前年度と比較すると 2 万 4,466 円（0.0％）の増となっている。歳出総額は 7,422 万 4,836 円で、前年度と比較すると 118 万 9,015 円（1.6％）の減となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は 1,366 万 2,892 円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は 1,366 万 2,892 円となっている。

⑵墓地特別会計歳入歳出決算　　（単位：円）

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額（形式収支）	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
574,777,165	562,313,952	12,463,213	0	12,463,213

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

（単位：円、％）

区分＼年度		令和５年度	令和４年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	574,777,165	928,158,226	△ 353,381,061	△ 38.1
歳出総額	B	562,313,952	919,325,354	△ 357,011,402	△ 38.8
歳入歳出差引額 (A-B)	C	12,463,213	8,832,872	3,630,341	41.1
翌年度へ繰り越すべき財源	D	0	0	0	0
実質収支額 (C-D)	E	12,463,213	8,832,872	3,630,341	41.1
前年度実質収支額	F	8,832,872	9,507,674	△ 674,802	△ 7.1
単年度収支額 (E-F)	G	3,630,341	△ 674,802	4,305,143	638.0

本年度の墓地特別会計の歳入総額は５億7477万7,165円で、前年度と比較すると３億5,338万1,061円（38.1％）の減となっている。歳出総額は５億6,231万3,952円で、前年度と比較すると３億5,701万1,402円（38.8％）の減となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は1,246万3,213円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は1,246万3,213円となっている。

２　歳入の状況

⑴ 一般会計歳入決算

本年度の予算現額は8,709万3,000円で、調定額は8,788万7,728円、収入済額は8,788万7,728円、予算現額に対する収入率は100.9％である。

（単位：円、％）

区分＼年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和５年度	87,093,000	87,887,728	87,887,728	100.9	0	0
令和４年度	83,333,000	87,863,262	87,863,262	105.4	0	0
増減額	3,760,000	24,466	24,466	―	0	0
増減率	4.5	0.0	0.0	△ 4.5	0.0	0.0

⑵ 墓地特別会計歳入決算

本年度の予算現額は6億1,172万4,000円で、調定額は5億7,477万7,165円、収入済額は5億7,477万7,165円、予算現額に対する収入率は94.0%である。

（単位：円、%）

区分／年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和5年度	611,724,000	574,777,165	574,777,165	94.0	0	0
令和4年度	941,607,000	928,158,226	928,158,226	98.6	0	0
増減額	△ 329,883,000	△ 353,381,061	△ 353,381,061	—	0	0
増減率	△ 35.0	△ 38.1	△ 38.1	△ 4.6	0.0	0.0

3　歳出の状況

⑴ 一般会計歳出決算

本年度の予算現額は8,709万3,000円で、支出済額は7,422万4,836円、翌年度繰越額はなく、不用額は1,286万8,164円、執行率は85.2%である。

（単位：円、%）

区分／年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和5年度	87,093,000	74,224,836	85.2	0	12,868,164
令和4年度	83,333,000	75,413,851	90.5	0	7,919,149
増減額	3,760,000	△ 1,189,015	—	0	4,949,015
増減率	4.5	△ 1.6	△ 5.3	0.0	62.5

⑵ 墓地特別会計歳出決算

本年度の予算現額は6億1,172万4,000円で、支出済額は5億6,231万3,952円、翌年度繰越額はなく、不用額は4,941万48円、執行率は91.9%である。

（単位：円、%）

区分／年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
令和5年度	611,724,000	562,313,952	91.9	0	49,410,048
令和4年度	941,607,000	919,325,354	97.6	0	22,281,646
増減額	△ 329,883,000	△ 357,011,402	—	0	27,128,402
増減率	△ 35.0	△ 38.8	△ 5.7	0.0	121.8

⑶ 歳出の性質別比較（普通会計）

歳出の性質別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、普通会計とは地方公共団体の会計のうち公営事業会計を除く会計を統合したものであり、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分である。

（単位：千円、％）

区分＼年度	令和５年度		令和４年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人　件　費	58,320	9.6	60,767	6.3	△ 2,447	△ 4.0
物　件　費	45,043	7.4	46,394	4.8	△ 1,351	△ 2.9
維持補修費	837	0.1	630	0.1	207	32.9
扶　助　費	120	0.0	100	0.0	20	20.0
補助費等	12,211	2.0	10,840	1.1	1,371	12.6
公　債　費	189,992	31.1	527,022	54.4	△ 337,030	△ 63.9
積　立　金	303,743	49.8	322,779	33.3	△ 19,036	△ 5.9
合　　計	610,266	100.0	968,532	100.0	△ 358,266	△ 37.0

⑷歳出の目的別比較（普通会計）

歳出の目的別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、区分については、地方財政統計上用いられているもので、決算書における予算科目とは計上が異なる。

（単位：千円、％）

区分＼年度	令和５年度		令和４年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議　会　費	1,819	0.3	2,058	0.2	△ 239	△ 11.6
総　務　費	455	0.1	523	0.1	△ 68	△ 13.0
民　生　費	120	0.0	100	0.0	20	20.0
衛　生　費	417,880	68.5	438,829	45.3	△ 20,949	△ 4.8
公　債　費	189,992	31.1	527,022	54.4	△ 337,030	△ 63.9
合　　計	610,266	100.0	968,532	100.0	△ 358,266	△ 37.0

4　物品

物品の現在高（取得価額 50 万円以上）

区　　分	前年度末 現 在 高	令和５年度中 増 減 高	令和５年度末 現 在 高
乗用自動車	2	0	2
音響機器	2	0	2
遺体保冷庫	3	0	3
祭　　壇	2	0	2

5　基金

基金の現在高　（単位：円）

区　分	前年度末現在高	令和５年度中増減高		令和５年度末現在高
		増	減	
財政調整基金	40,565,749	11,235	0	40,576,984
墓地管理運営基金	98,505,269	302,482,066	231,184,000	169,803,335
合　計	139,071,018	302,493,301	231,184,000	210,380,319

※出納整理期間中の墓地管理運理基金への積立金　1,250,000 円

6　まとめ

令和５年度稲城・府中墓苑組合の一般会計及び墓地特別会計における歳入歳出決算の執行状況、及び事務事業の実施状況を審査したところ、事務は適正に処理されていると認められた。

令和５年度決算では、一般会計においては、歳入の予算比収入率が 100.9%、歳出の執行率が 85.2%であり、墓地特別会計においては、歳入の予算比収入率が 94.0%、歳出の執行率が 91.9%であった。

歳入面では、駐車場使用料収入が前年度比約 101%増となったものの、南山ホール使用料収入が約 13%の減となり、一般会計の使用料収入全体では約 7%の減となった。

南山ホールの使用料収入については、家族葬等の葬儀の小規模化により第二式場の利用が少ない厳しい状況が依然として続いている。市民ニーズを的確に捉え、様々な策を講じて、収入を確保するとともに、「選ばれる式場」を目指してもらいたい。

墓地使用料収入については、有期限芝生墓地及び樹林式墓地が微増したものの、全体では約 6%の減となった。開設から９年が経過し、順調に市民ニーズに応え、安定的な収入を確保できている。芝生墓地の残数が少なくなってきているとのことだが、引き続き適正な使用者募集を行っていただきたい。

歳出面では、概ね予算通りに執行されていることを確認した。

最後に全体として、南山ホールの利用率向上については、引き続きの課題であることを認識いただき、様々な策に取り組んでいただきたいと思う。また、開設にあたって起債した債務については、無事に償還できる見込みであることを聞き、安心するとともに、この結果は、これまでの運営の努力によるものだと思うので、引き続き安定的な組合運営に努めていただくようお願いしたい。